

議長



渡邊 繁雄
無所属 新本

この度総社市合併後五代目の議長に就任させていただきました。元々浅学非才ですが、一生懸命務めさせていただきます。

いただきますのでよろしくお願いたします。
さて、市民の多くの方々から、議会は、また議員は何をやっているのか良く分からないうちのお話を耳にいたします。そこで私は、議会や議員が何を考え、将来の総社市をどのような方向に舵を取ろうとしているのかをできるだけ分かりやすく伝え、また市民の皆様の声に耳を傾けながら市政の運営をして参りたいと考

えております。
そのためには各議員が市民の皆様との対話を大切にし、本市発展のために何を望んでおられるのかを十分に聴かせていただき、議員間で十分議論・検討を重ね、議会に提案をすることが必要と考えます。議論を十分に尽くすことで、あるいは条例の変更もあり得るでしょう。そういうことを繰り返すことで、議会活動が活発になると考えます。議員

24名が議論を重ね、市長部局と切磋琢磨し、知恵比べをすることで本市は必ず良い方向へ進んでいくと考えます。
また、議会改革につきましても、本会議での一問一答を実施したことで、以前よりは分かりやすいとお声もいただいております。今後も市民の皆様に分かりやすい議会にして参りたいと思っております。ご指導ご鞭撻ご協力の程よろしくお願いたします。

就任ごあいさつ

副議長



西森 頼夫
日本共産党 種井

この度副議長に就任することとなり、責任の重大さを感じております。
高梁川への架橋工事が始ま

ります。避けて通れない学校の耐震化工事、一般廃棄物最終処分場、学校給食調理場や消防署昭和出張所の建設など数々の大型事業が控えています。
制度が改正されて、国からの補助金は減額される、景気低迷で市の独自財源も減少する厳しい財政状況のなか、議会も知恵を出し「積極的に政策提言をする」「行政のチェックをする」この二つの仕事

を前進させ、総社市が発展できるよう、議員の皆さんと一緒に頑張ります。
私の職責は、市民の代弁者としての24人の議員が、議会運営に努めること、また、行政が市民の願いとかけ離れたようなチェックできる議会運営に努めることだと思っております。
すでに、一般質問では「一問一答方式」、委員会では調

査権を活用した「所管事務調査」を行い、議会改革を進めております。
議員各位の英知をいただいでさらなる改革を進め、市民の皆様に見える議会、より開かれた議会にするよう努力してまいります。
市民の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
(最終ページに関連記事)

産業水道委員会

【一般会計決算審査特別委員会産業水道分科会】

◎平成22年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

問 国の雇用対策に係る緊急雇用の内容はどのようなものか。

答 固定資産課税台帳の電子画像帳票作成等の17事業である。

問 動画コンテンツ作製委託では、どのようなものを作製し、どのように利用するのか。

答 本市の観光資源をアピールして観光客を誘致するため、インターネット等で公開する。

【常任委員会】

当委員会が審査した案件は議案8件であり、いずれも原案どおり可決すべきと決定しました。主なものは次のとおりです。

◎平成22年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 機能診断調査業務委託及び最適整備構想策定業務委託の委託先とその内容はどのようなものか。
答 岡山県土地改良事業団体連合会に委託し、山手、岡谷平山の施設で修繕が必要かどうかの診断をした。今の段階ではその必要がなかった。
◎平成22年度総社市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について
問 工事請負費に多額の繰越明許費が生じているが、公共下水道工事の進捗率と普及率はどうなっているか。
答 現在整備を計画している区域の進捗率は約26%、市全体の普及率は57%である。
◎平成22年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について
問 サンロード吉備路の指定管理契約において、赤字が生じた場合の市の負担についてはどのようなになっているか。
答 特別会計内で不足が出た

場合は市が補てんするが、営業収入と営業経費の差で赤字となれば、指定管理者が自己負担で補てんする。
◎平成22年度総社市水道事業会計決算認定について
◎平成22年度総社市工業用水道事業会計決算認定について
問 水道事業会計において、有収率が上がったというが、その割合と要因は何か。また、クリプトスポリジウム病原菌対策の現状はどうか。
答 上水道は85.3%から88.3%に上がった。それは漏水調査を業者に委託し、漏水があった場合は修繕しているため。クリプトスポリジウム病原菌対策については、来年度中に紫外線照射装置を稼働できる予定である。
◎総社市中小企業振興基本条例の制定について
問 中小・零細企業の定義についてはどのように考えているか。

答 市内全ての中小企業である。
◎平成23年度総社市一般会計補正予算(第2号)
主なものは加入者増に伴う汚水管理設工事に係る農業集落排水特別会計への繰出金を増額しようとするもの、また、県営ため池整備事業として行う大谷池の改修に伴う県の予算が増額されたため、本市の負担金も増額しようとするもの。
◎平成23年度総社市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第2号)
加入者増に伴う汚水管理設工事業費を増額しようとするもの。



紫外線照射装置